

みずほCustomer Desk Report 2021/01/28号(As of 2021/01/27)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	103.69 AUD/USD
TKY 9:00AM	103.60	1.2163	126.01	1.3740	0.7754
SYD-NY High	104.20	1.2170	126.19	1.3759	0.7764
SYD-NY Low	103.59	1.2058	125.61	1.3659	0.7644
NY 5:00 PM	104.10	1.2114	126.08	1.3692	0.7664

NY DOW	30,303.17	▲ 633.87	日本2年債	-0.1400	0.00bp
NASDAQ	13,270.60	▲ 355.47	日本10年債	0.0300	0.00bp
S&P	3,750.77	▲ 98.85	米国2年債	0.1182	▲0.39bp
日経平均	28,635.21	89.03	米国5年債	0.4090	0.11bp
TOPIX	1,860.07	12.07	米国10年債	1.0119	▲2.03bp
シカゴ日経先物	28,195.00	▲ 530.00	独10年債	-0.5505	▲1.80bp
ロンドンFT	6,567.37	▲ 86.64	英10年債	0.2665	0.20bp
DAX	13,620.46	▲ 250.53	豪10年債	1.0590	▲2.00bp
ハンセン指数	29,297.53	▲ 93.73	USDJPY 1M Vol	5.30	0.27%
上海総合	3,573.34	3.91	USDJPY 3M Vol	5.85	0.14%
NY金	1,844.90	▲ 6.00	USDJPY 6M Vol	6.25	0.10%
WTI	52.85	0.24	USDJPY 1M 25RR	-0.28	Yen Call Over
CRB指数	175.64	0.22	EURJPY 3M Vol	6.28	0.11%
ドルインデックス	90.65	0.48	EURJPY 6M Vol	6.65	0.13%

東京	東京時間のドル円は103.60レベルでオープン。前日の海外時間での下落分を巻き戻す動きとなるが、バイデン新政権になってからは初となるFOMCを控え、パウエルFRB議長の会見に注目が集まる中では小幅での推移に留まり、103.68レベルで海外に渡った。
ロンドン	本日ロンドン時間ドル円は上昇した。103.68レベルでオープン。欧州株が軟調に推移した事や欧州中央銀行政策委員会メンバーであるクワットオランダ中銀総裁の「ユーロ上昇を防ぐために必要ならば中銀預金金利をさらに下げる余地がある」との発言を背景にユーロドル、ポンドドルは下落。押されたドル円は値を上げ103.86レベルにてNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場ではクワットオランダ中銀総裁の「ECBは金利の下限に達しておらず利下げ余地ある」とのユーロ高けん制発言と取れるヘッドラインが伝わり、ダウ先物も低下する中、ユーロ売りドル買いが強まり、ドル円は103.89まで戻し、103.86レベルでNYオープン。朝方は米12月耐久財受注が予想を下回る一方、前回分が上方修正され、強弱混在の結果にドル円の反応は限定的となるが、午後のFOMC結果発表を控え、ドル買いが継続したことから104.18まで戻す。その後は結果発表を控え狭いレンジでの推移が続く。注目のFOMCでは予想通り金融政策が据え置かれるが、声明文では「経済活動と雇用の回復ペースはパンデミックの影響を最も受けた部門に集中した弱さを伴ってここ数ヶ月で減速した」と前回より景気見通しが下方修正された。パウエル議長の記者会見では、声明文から「中期的に」経済見通しの「リスク」の中期的を今回外したのはもはや短期的であるから等の発言があるが、テーパリングの時期に関する言及は「時期尚早」と予想通りハト派な姿勢が示されたことからドル円の反応は限定的となる。その後は株式市場が過熱感から大幅に下落する展開にドルが買われ104.20まで上昇し、104.10レベルでクロスした。一方、ユーロドルは昨日からのECBのユーロ高けん制発言と取れるヘッドラインを受けユーロ売りが強まり、1.2106まで下落し、1.2108レベルでNYオープン。朝方は独政府が今年のGDP予想を3%と前回10月時見通し4.4%から下方修正したことや、ECB当局者が「市場はECBの利下げの確立を過小評価している」との見方を示したことから更にユーロ売りが強まり、1.2058まで下落する。その後はFOMC結果発表を控えた調整から1.2119まで戻す。午後は、株安を受けたドル買いに1.2094まで反落し、1.2114レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 原田・上遠野 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

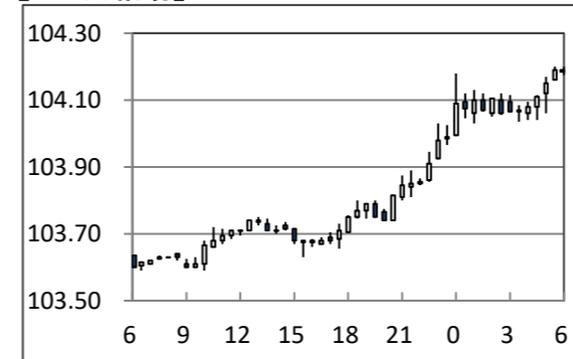
【昨日の指標等】

Date	Time	豪	米	Event	結果	予想
1月27日	09:30	豪		CPI(前期比/前年比)	4Q	0.9%/0.9%
	22:30	米		耐久財受注(前月比)/同(除く輸送用機器・前月比)・速報	12月	0.2%/0.7%
1月28日	04:00	米		FOMC政策金利	27-Jan	0.0% - 0.25%
	04:30	米		パウエルFRB議長会見		「今後の道筋は非常に不確実」「テーパリングの議論は時期尚早」

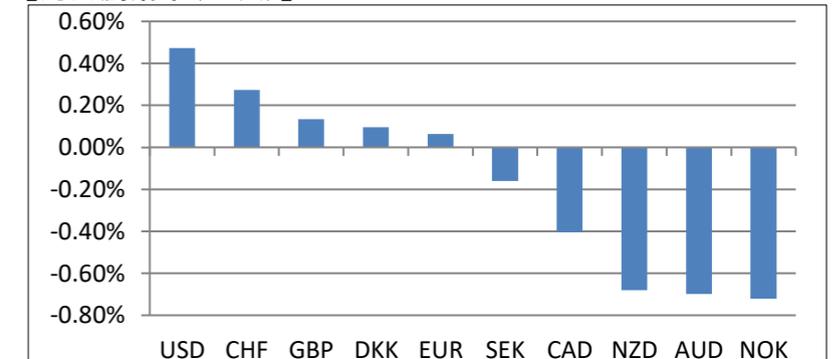
【本日の予定】

Date	Time	欧	独	米	米	米	米	米	米	米	予想	前回
1月28日	19:00	欧									-	-15.5
	22:00	独									0.4%/0.7%	0.5%/-0.3%
	22:30	米									0.5%	0.0%
	22:30	米									875k	900k
	22:30	米									4.2%	33.4%
	22:30	米									3.1%	41.0%
	22:30	米									1.2%	3.4%
1月29日	00:00	米									866k	841k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	103.50-104.50	1.2030-1.2180	125.50-126.90

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は上昇する展開になった。クワットオランダ中銀総裁のユーロ高けん制発言の報道にユーロ売りドル買いが強まる中、ドル円も104円を突破。注目のFOMCは、予想通りの据え置きの内容に。その後の会見では出口戦略について時期尚早との指摘を行い、新型コロナウイルスの感染拡大への影響が引き続き懸念される中、ハト派的な姿勢を示したが、ドル円の反応は限定的であった。一巡後は104円台前半での推移となった。本日のドル円は上値重い展開を予想。引き続き株式市場の軟調推移によるリスクオフムードや、欧州通貨の動きを睨みながらのドル買いは継続すると思われる。一方で、FOMCでは金融緩和の継続が決定されドル売りの流れもある中、上値は限定的になると予想する。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	鈴木	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ベア
ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル		7	14